

宇都宮市立清原南小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
国語における、読む力・表現する力の育成	「根拠をもった正確な読み取り」を重点課題とし、言語活動を通じて様々な考え方と出会う中で読みを深めていけるように、読みの交流を位置付けた授業の研究に取り組んでいる。また、読みの力において全児童に対する定期的なアセスメントを行い、読みの流暢性を高めるための学習の充実を図っている。	すべての領域で市平均を上回った。「読むこと」の説明文では文章の内容を的確に読み取ることができ、「話すこと・聞くこと」では話し手の意図を考えながら聞くことがよくできていた。
算数における単元や子どもの実態に合わせた少人数指導や習熟度別学習の充実	個に応じた対応と集団の特性を効果的に生かす学習形態を工夫し、計画的、継続的に指導にあたっている。	計算や作図の正答率が高く、基礎基本の定着が図られている。また、学年が上がるにつれ、「学校の授業が分かる。」と答えた児童の割合が高くなっている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・ 要点を整理する、自分の考えを整理して話す、文章を組み立てる、読み手に伝わる書き方を工夫するなど、表現することに課題が見られる。必然性のある考えの交流、学び合いの場の設定と、発達段階と個人差に応じたワークシートの工夫、自分の思考の過程が分かるノート記述の指導を充実させる。また、ユニバーサルデザインの視点に立った板書の工夫に努め、どの児童にも効果的に思考や要点の整理、考えのまとめ、発信ができるようにする。
- ・ 家庭学習において、自ら計画を立てて取り組むことに課題が見られた。授業で習ったことの復習、問題の解き直し、次の学習内容の予習など、学年の発達段階に応じて、より確かな学力の定着に結びつく復習、予習の勧めや自主的な課題の見つけ方を示すなど、意識を高める工夫をする。